

設備投資の動向について

1. 岐阜県内の設備投資計画（法人企業景気予測調査結果より）
2. 東海財務局管内企業アンケート結果
 - 2-1 設備投資の現状と実行を遅らせるリスク要因
 - 2-2 設備投資における今後の重点項目

令和4年11月1日

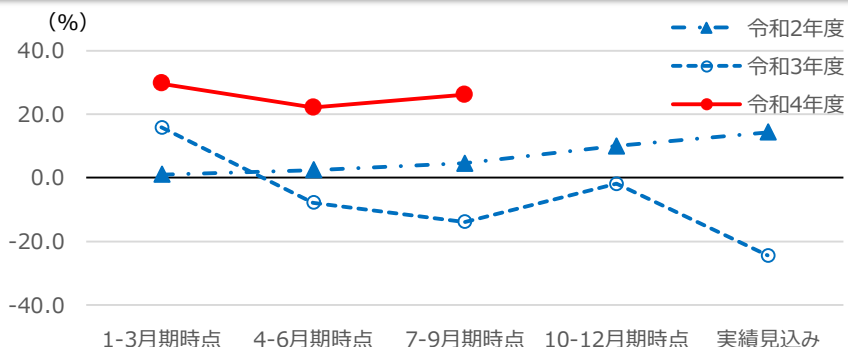
財務省 東海財務局 岐阜財務事務所



1. 岐阜県内の設備投資計画(法人企業景気予測調査より)

- 岐阜県内の令和4年度の設備投資は、前年度比+26.1%の見込みで、引き続き堅調な計画を維持。
- 前年度から「増加」と回答した企業の要因は、新工場の建設投資や機械設備の導入、「減少」と回答した企業の要因は、前年度に大きな投資を行った反動減が多い。
- 設備投資の対象は、「生産・販売等の機械及び装置」、「ソフトウェア」と回答する企業が多い。

(1) 設備投資計画の対前年度比(岐阜県・全産業)

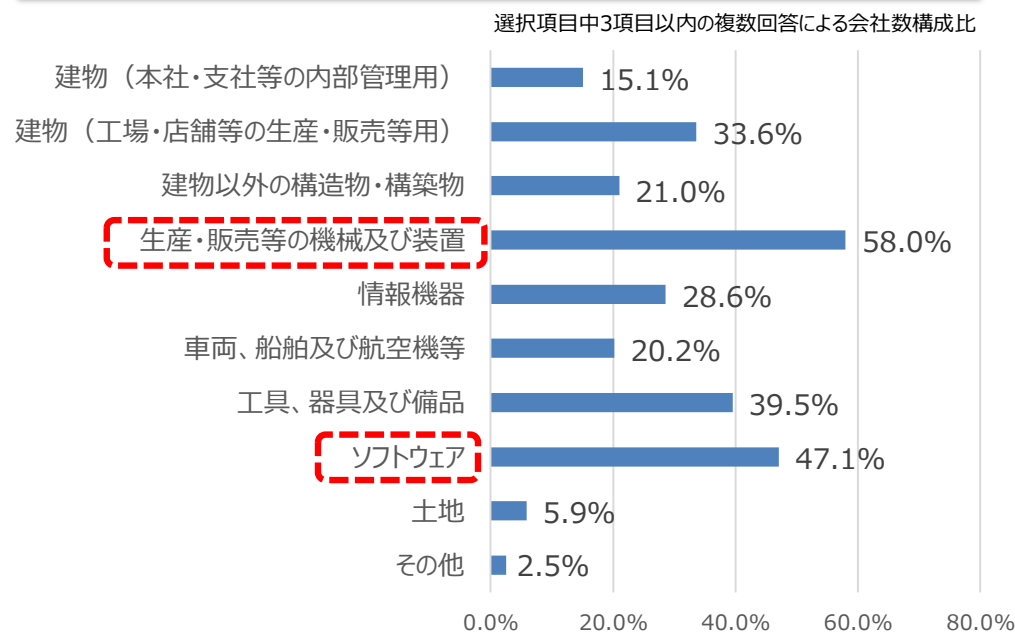


(2) 令和4年度の設備投資額見込み対前年度比(岐阜県)

	全産業	製造業	非製造業
設備投資額	26.1%	82.6%	▲20.1%

注：令和4年7-9月期調査時の見込み

(3) 令和4年度における設備投資の対象(岐阜県・全産業)



～岐阜県内企業の声～

○前年度比「増加」の要因

- ・新工場を建設予定。効率的な生産ラインを構築するとともに、太陽光発電・省エネ導入などを行っていく。(製造業)
- ・主に開発関係の設備の導入を予定している。(製造業)

○前年度比「減少」の要因

- ・昨年度、新規出店したほか、建替えや移転等を行った反動減。(非製造業)
- ・昨年度に1店舗新築移転があったことによる反動減。今年度は例年通りの水準。(非製造業)

(注1) 設備投資計画は、ソフトウェアを含む、土地購入額除く。

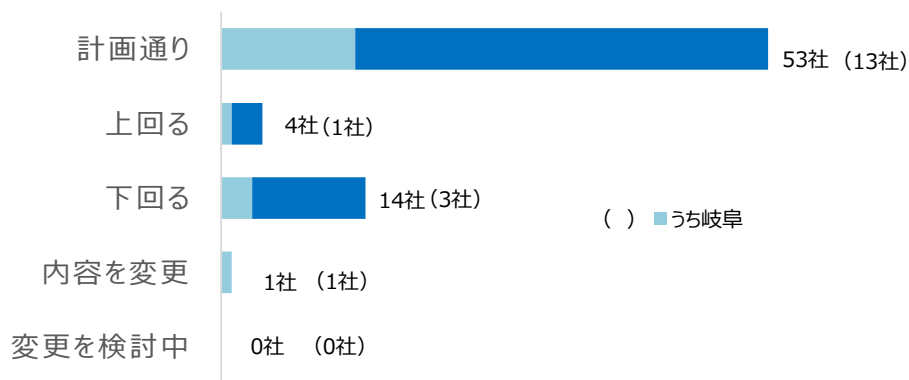
(注2) 各年度の1-3月期調査における計画は、当年度の実績見込みと翌年度の見通しを調査。

(出所) 内閣府・財務省「法人企業景気予測調査」

2-1. 設備投資の現状と実行を遅らせるリスク要因（東海財務局管内企業アンケート結果）

- 今事業年度の設備投資計画の着地見込については、「計画通り」と回答した企業が73.6%と最も多いが、計画を「下回る」と回答した企業も19.4%に上った。
- 今後、設備投資の実行を遅らせる要因については、「供給制約の影響」（40.0%）が多く、次いで「原材料価格の高騰」（24.0%）、「利益水準・資金繰りの悪化」（21.3%）と回答した企業が多かった。

（4）今事業年度における設備投資の着地見込



【回答社数】（令和4年度）：72社（不明・未回答3社除く）うち岐阜18社

～岐阜県内企業の声～

「計画通り」

- 自動車関連の金型など能力増強、設備更新。（輸送用機械）
- 労働環境改善のための投資及び計測機器等の更新を行う予定。（小売）

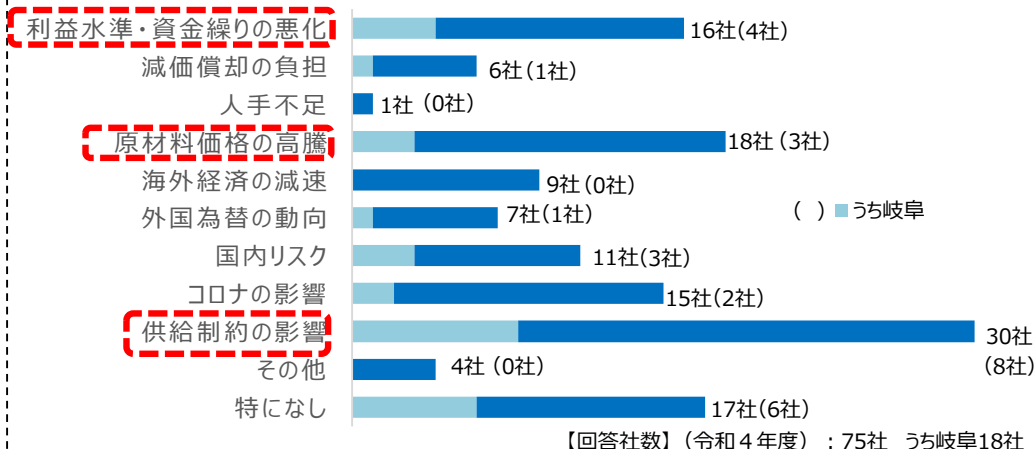
「上回る」

- 受注生産であり、顧客のニーズに合わせて必要な機械を補充するが、売上が伸びているため計画を上回る見込み。（金属製品）

「下回る」

- 市況の変化、先行き不透明感によって下振れ見込み。（繊維）

（5）今後の設備投資の実行を遅らせる要因（重要度の高い順に3項目まで）



【回答社数】（令和4年度）：75社 うち岐阜18社

～岐阜県内企業の声～

「供給制約の影響」

- 設備更新に必要な部品の供給制約を受けている。（輸送用機械）

「原材料価格高騰」「利益水準・資金繰りの悪化」「供給制約の影響」

- 原材料価格の高騰により利益が圧迫されていることに加え、供給制約の影響で設備機械の納入時期が見込めず、予定通り進まない。（サービス）

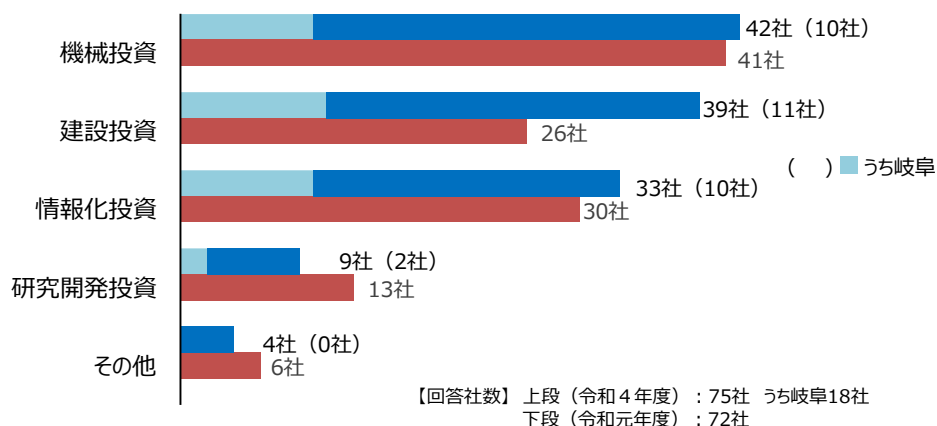
「利益水準・資金繰りの悪化」「供給制約の影響」

- メーカーからの供給が落ち込み業績悪化した場合。（小売）

2-2. 設備投資における今後の重点項目（東海財務局管内企業アンケート結果）

- 今後の設備投資における重点項目の内容について、「機械投資」と回答した企業（56.0%）が最も多く、2番目に多い「建設投資」と回答した企業（52.0%）の割合は3年前よりも大きく増加した（16%ポイント程度増加）。
- 今後の設備投資における重点項目の目的について、「省力化・効率化」に次いで「設備の更新」と回答した企業が多く、「省力化・効率化」と回答した企業は3年前よりも増加した。また、今回の新規項目である「脱炭素への対応」と回答した企業は24.7%となった。

(6) 今後の設備投資における重点項目の内容（重要度の高い順に2項目まで）



～岐阜県内企業の声～

「機械投資」

- メーカーから示される2～3年後の生産計画に合わせて対応できる設備投資を行うほか、老朽化設備の更新。(金属製品)

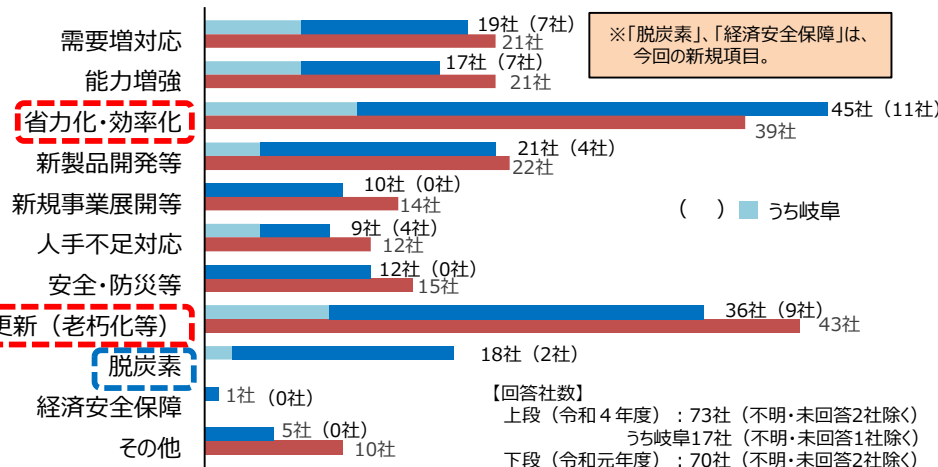
「建設投資」

- 設備更新の需要増加により生産能力を増強するための工場増設。(はん用機械)
- 国内の新工場建設と海外工場の拡張。(輸送用機械)
- 新店舗の建設。(小売)

「情報化投資」

- 店舗の端末更新や既存システムの改修など、DX化を進めるための投資。一部で先行して実施し、グループ全体へ拡大する計画。(サービス)

(7) 今後の設備投資における重点項目の目的（重要度の高い順に3項目まで）



～岐阜県内企業の声～

「省力化・効率化」

- 老朽化対応の設備更新にあたり、省力化機能を備えた設備とすることで人手不足への対応にもつなげていく。(生産用機械)
- 人手不足のため、省力化は切実な問題。働き方を変えていくための設備を導入し、中長期的にビジネスモデルを検討していく。(サービス)

「設備の更新 (老朽化等)」

- 工場の更新と老朽化設備の更新により、生産能力の拡大と脱炭素へ向けた設備への更新を実施。(輸送用機械)

「脱炭素」

- カーボンニュートラルに向けて、太陽光導入など脱炭素への対応を行う。(輸送用機械)